

新旧対照表

(※)デザイン変更等の修正は除く。

第1章 中野区交通政策基本方針について

【新】基本方針(素案)		【旧】基本方針(素案たたき台)	備考
—	—	—	—

第2章 区の交通に関する現状と課題等

【新】基本方針(素案)		【旧】基本方針(素案たたき台)	備考
P.6	1 交通に関する現状・地域特性・問題点 ○自動車(路線バス、タクシー、自家用車など)	1 交通に関する現状・地域特性・問題点 ○自動車(路線バス、自家用車など)	協議会委員意見を反映
P.7	【次の項目を追加】 ○タクシーは、鉄道や路線バスといった大量輸送交通が担っている公共交通としての役割とは異なり、深夜・早朝を含め24時間稼働の唯一の公共交通として、多忙な都市生活者などの生活に合わせ利用されるとともに、移動しづらい育児中の女性や高齢者及び障害者などにも利用されています。(第5章資料編P31)	新規追加	協議会委員意見を反映
P.11	2 交通に関する課題 (1)公共交通に関するもの ○今後の公共交通の利用状況変化を見据えた、鉄道の混雑緩和(中野駅から新宿駅の区間)	2 交通に関する課題 (1)公共交通に関するもの ○JR中央線の鉄道の混雑緩和	協議会委員意見を反映
P.12	2 交通に関する課題 (3)交通を取り巻く状況等に関するもの ○新技術の研究・導入、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の変化への対応(新型コロナウイルス感染症等の拡大防止、持続的な公共交通の提供など)	2 交通に関する課題 (3)交通を取り巻く状況等に関するもの ○新技術の研究・導入、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の変化への対応(新型コロナウイルス感染症等の拡大防止、公共交通の維持など)	協議会委員意見を反映

第3章 交通政策の基本的な考え方

【新】基本方針(素案)		【旧】基本方針(素案たたき台)	備考
P.13	<p>1 交通政策の推進にあたっての基本的認識</p> <p>○交通は、区民にとって安全・安心、快適・便利に生活するための必要不可欠なものとなります。とりわけ公共交通については、必要性が高いものとなっています。</p> <p>また、今後の超高齢社会への対応、昨今の自然災害や新型コロナウイルス感染症等への対応が求められるとともに、脱炭素をはじめとした環境への配慮、新技術の普及等の社会情勢の変化への対応も求められます。</p> <p>こうしたことを踏まえ、まちづくり等との連携、公民の連携、地域との協働を適切に図ることが重要という認識のもと、<u>持続可能な公共交通の実現に向け、公共交通ネットワークや交通インフラを充実するため、交通政策を推進していきます。</u></p> <p>○図の変更(内容含む)</p>	<p>1 交通政策の推進にあたっての基本的認識</p> <p>○交通は、区民にとって安全・安心、快適・便利に生活するための必要不可欠なものとなります。とりわけ公共交通については持続可能な交通基盤として必要性が高いものとなっています。</p> <p>また、今後の超高齢社会への対応、昨今の自然災害や新型コロナウイルス感染症等への対応が求められるとともに、脱炭素をはじめとした環境への配慮、新技術の普及等の社会情勢の変化への対応も求められます。</p> <p>こうしたことを踏まえ、まちづくり等との連携、公民の連携、地域との協働を適切に図ることが重要という認識のもと交通政策を推進していきます。</p>	協議会委員意見を反映
P.14	<p>2 めざすべき姿と基本目標</p> <p>【次の項目を追加】</p> <p>○SDGs(持続可能な開発目標)への取組</p> <p>○SDGsにおける持続可能な開発のための17の目標(ゴール)のうち、7番目の「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、9番目の「産業と技術革新の基盤をつくろう」、11番目の「住み続けられるまちづくりを」、17番目の「パートナーシップで目標を達成しよう」の4つの目標を、本方針と特に関わりが強い目標(ゴール)ととらえ、それぞれに関連する取組を推進していきます。</p> <p>○図の追加</p>	新規追加	協議会委員意見を反映

P.15	【次の項目を追加】 ○イメージパースの追加	新規追加	20年後の将来イメージを追加
P.16	【次の項目を追加】 ○図の追加	新規追加	取組内容のイメージ図を追加
P.17	【次の項目を追加】 ○図の追加	新規追加	イメージパースの切り抜きを追加
P.18	3 取組の方向性 ○新たな交通結節点について 新たな交通結節点とは、公共施設や商業・業務施設など、地域に必要な都市機能を擁する一部空間に、路線バスや自動車、自転車、徒歩などの交通モードを切り替えることのできる交通機能が備わった拠点です。 整備にあたっては、地域のまちづくりにおいて住民ニーズと適切な需要予測のもと、必要な交通モードを導入することとなります。 導入にあたっては交通機能の他、空間機能としての滞留機能（人々が休憩や活動の場として利用する）、交流機能（多様な人々が交流する）、誘導機能（区内の周辺施設の案内誘導によりまちの回遊を促す）なども合わせて検討します。 ○図の変更(内容含む)	3 取組の方向性 ○新たな交通結節点について 新たな交通結節点とは、公共施設や商業・業務施設など、地域に必要な都市機能を擁する一部空間に、路線バスや自動車、自転車、徒歩などの交通モードを切り替えることのできる交通機能が備わった拠点です。 整備にあたっては、地域のまちづくりにおいて住民ニーズと適切な需要予測のもと、必要な交通モードを導入することとなります。 導入にあたっては交通機能の他、滞留機能（人々が休憩や活動の場として利用する）、交流機能（多様な人々が交流する）、誘導機能（区内の周辺施設の案内誘導によりまちの回遊を促す）なども合わせて検討します。	協議会委員意見を反映
P.19	○鉄道と路線バスやタクシー等との円滑な乗り継ぎ等を図るため、将来を見越した適切な需要予測に基づき、駅舎改良や駅前空間、自動車・自転車駐車場整備等の交通結節機能の強化を公民の連携、適切な役割分担のもと推進します。	○鉄道と他の交通手段との円滑な乗り継ぎ等を図るため、将来を見越した適切な需要予測に基づき、駅舎改良や駅前空間、自動車・自転車駐車場整備等の交通結節機能の強化を公民の連	協議会委員意見を反映

P.20	○道路交通の円滑化を図るため、路上荷捌き等の駐車課題の多い鉄道駅周辺においては、都市計画駐車場の整備、荷捌き駐車対策等の駐車施策を推進します。	○路上荷捌き等の駐車課題の多い鉄道駅周辺においては、都市計画駐車場の整備、荷捌き駐車対策等の駐車施策を推進します。	協議会委員意見を反映
P.22	(3)交通環境の質の向上 ○取組の方向性1 【具体的な取組例】 ⇒自転車駐車場の整備・再整備の検討 【次の項目を追加】 ○取組の方向性2 【具体的な取組例】 ⇒交通事業者による福祉施策や子育て施策の推進 ⇒バス待ち環境整備に向けた交通事業者と地域との連携・検討	(3)交通環境の質の向上 ○取組の方向性1 【具体的な取組例】 ⇒自転車駐車場の再整備検討	協議会委員意見を反映
P.23	【次の項目を追加】 ○取組の方向性4 【具体的な取組例】 ⇒交通事業者によるICT(情報通信技術)を活用したサービスの推進	新規追加	協議会委員意見を反映

第4章 交通政策基本方針の推進について

【新】基本方針(素案)		【旧】基本方針(素案たたき台)	備考
P.25	1 推進体制 中野区交通政策推進協議会	1 推進体制 (仮)中野区交通政策推進協議会	令和3年5月に協議会設置

第5章 資料編

【新】基本方針(素案)		【旧】基本方針(素案たたき台)	備考
P.31	【次の項目を追加】 ○(3)主なタクシーサービス	新規追加	協議会委員意見を反映
P.34	(5)自転車の活用 ○データを更新		出典元の時点更新
P.35	(6)自転車の放置の状況 ○データを更新		出典元の時点更新
P.37	(9)全国の自転車の死亡事故 ○データを更新		出典元の時点更新
P.44	(15)中野区の人口 ○データを更新		出典元の時点更新
P.45	【出典元の更新】 ○中野区の総人口は令和17(2035)年をピークに減少に転じ、令和27年(2045年)には総人口に対する老年人口の割合が30%を超えると予測されています。 (106,888人/350,213人=30.5%) ○図の更新 ○図のデザイン変更・図のタイトルの追加	○中野区の人口の将来予測は、現状推移によると下図のとおりとなっており、総人口が減少していく中、老年人口が増加し、令和27年(2045年)には総人口に対する老年人口の割合が30%を超えると予想されています。 (85,086人/281,137人=30.3%)	中野区基本計画の改定内容と整合を図るため、データを更新

P.46	<p>(16)ウォーカブル推進都市</p> <p>○このため、中野駅周辺地区総合交通戦略を策定し、歩行者の安全な通行と滞留を第一優先とした歩行空間の確保や動線整備、自転車や自動車の中心部への流入を抑制するための駐車場・駐輪場の適正配置など、多岐にわたるハード整備とソフト施策を効果的に進めていくこととしています。</p>	<p>(16)ウォーカブル推進都市</p> <p>○このため、中野駅周辺地区総合交通戦略を策定し、歩行者の安全な通行を第一優先とした歩行空間の確保や動線整備、自転車や自動車の中心部への流入を抑制するための駐車場・駐輪場の適正配置など、多岐にわたるハード整備とソフト施策を効果的に進めていくこととしています。</p>	協議会委員意見を反映
P.47	<p>【次の項目を追加】</p> <p>○今後は、公共交通の感染症等に対する安全性を高め、利用を促進するとともに、自宅でテレワークを行っている方などの外出を促すため、鉄道駅や商店街周辺への食事などを目的とした公共交通利用といった新たな移動ニーズを生み出すことも考えていく必要があります。</p> <p>○図の更新</p>	新規追加	協議会委員意見を反映
P.48 P.49	<p>【次の項目を追加】</p> <p>○2用語説明</p>	新規追加	各専門用語についての説明ページを追加